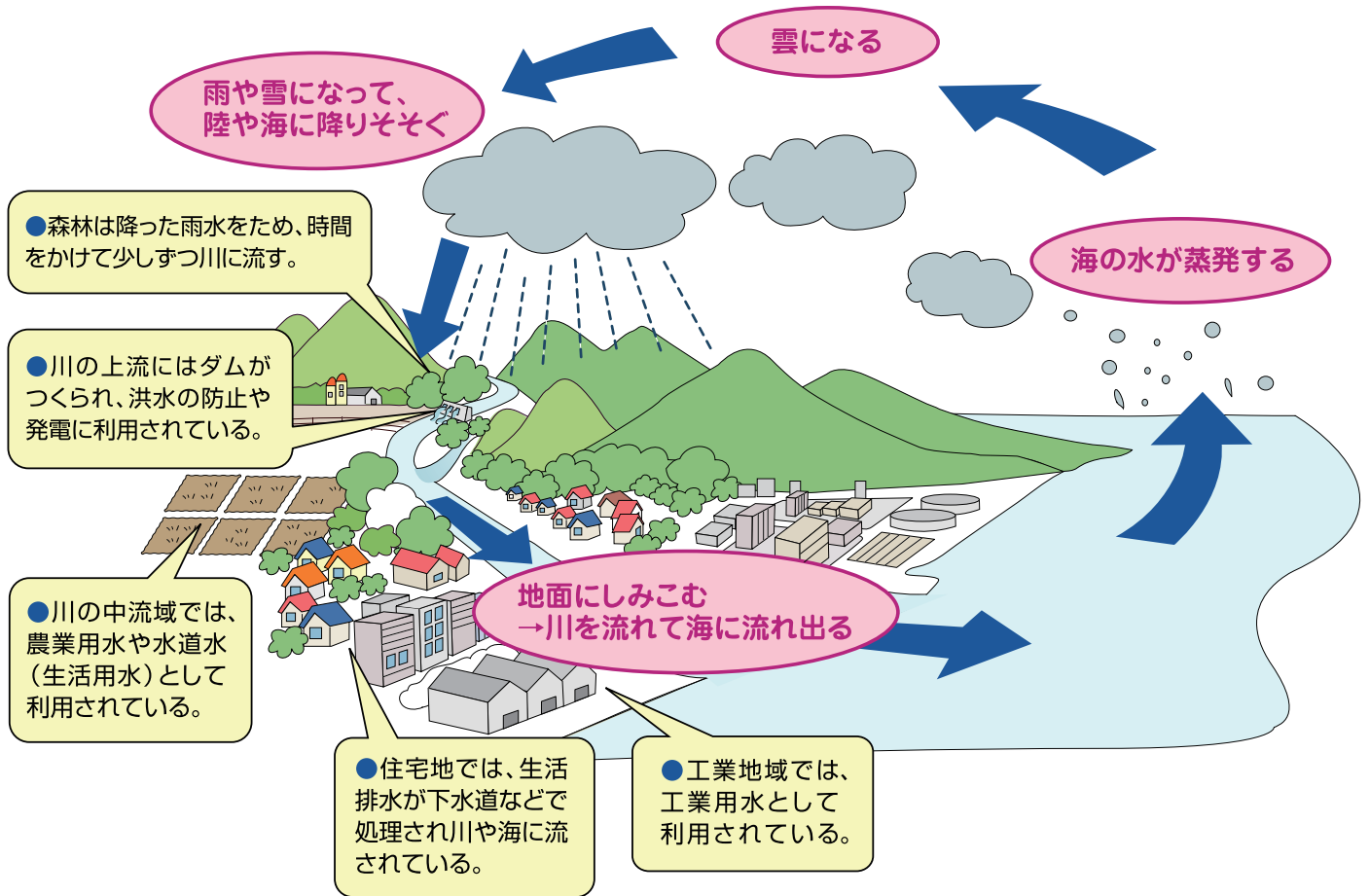
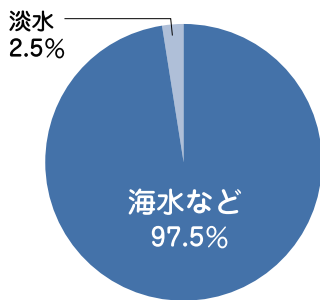


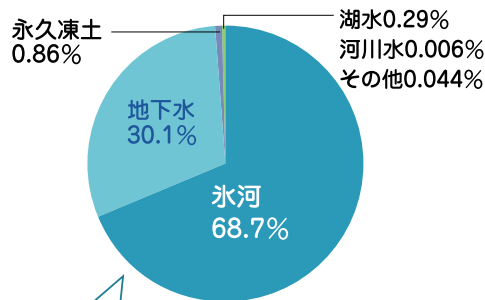
## 水の循環



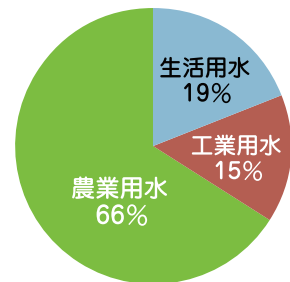
地球上の淡水と海水などの割合



地球上の淡水の割合



日本における水利用の割合



地球上の水のうち、塩分が含まれていない淡水はわずか2.5%。人や生きものが身近に利用できる川や湖などの水は、そのうちのわずか0.3%しかありません。大切に使いましょう。

水は、海や川の表面から太陽の熱によって蒸発して水蒸気になります。水蒸気は空中を漂い、やがて冷やされて雲となり、雨や雪となって海や陸に降りそそぎます。

降りそそいだ雨や雪は土にしみこみ、やがて湧き出して川となって海に流れます。その間に、植物は成長のために水を吸い上げ、動物は生命を維持するために水を飲みます。さらに私たち人間は、日々の暮らしやさまざまな産業に水を利用しています。

このように水は、形を変えて海や空や陸地を循環しながら、動植物など多くの生命や私たちの活動を支えています。

# 水環境 ②

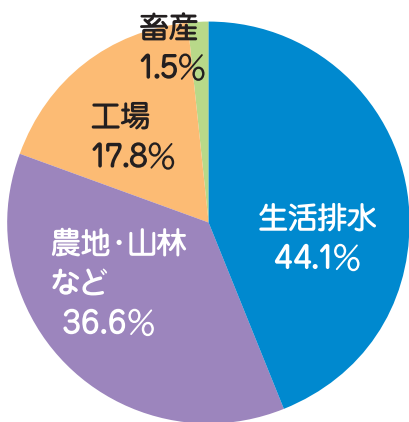
## 暮らしと水

### 川の水の汚れの原因のトップは？

川の水を汚す一番の原因は、意外にも私たちの家から出ている「生活排水」です。

かつて日本の高度成長時代、工場や鉱山からの排水が有害物質を含み人の健康や生命を脅かす重大な公害問題を引き起こしました。しかし、その後、水質汚濁防止法などの法律により工場などの排水は厳しく規制され、処理されるようになりました。

### ●県内の川の汚れの主な原因



(県内主要河川のBODの発生源別割合・平成22年度末)

お風呂や台所、水洗トイレなど私たちが暮らしの中で使う水の量は一人一日約250リットルです。家庭から出された生活排水は直接または下水処理場などで浄化された後、川に流されます。

山口県の生活排水処理率は約80% (全国23位。平成23年3月現在) であり、炊事や洗濯、入浴などに使われた汚水が直接川に流れ込んでいる地域がまだあります。

※生活排水が下水道、集落排水施設、合併浄化槽で処理される割合 (生活排水処理人口/住民基本台帳人口)

### ●浄化するために必要な水の量 (浴槽1杯…300リットル)



### ●どうすれば、水を汚さずにすむの？

「汚れの原因となるものを出来るだけ出さない」「水のムダ使いをしない」ことが大切です。

● 食べ物を作りすぎない。材料を買いすぎず、使い切る工夫をする。

● 皿や鍋についた油は、ポロ布や新聞紙などで拭き取ってから洗う。

● 調理くずや食べ残しが流れないように、水切り袋などを使う。

● 風呂の残り湯は、洗濯や掃除に使うなどして水をムダにしない。

● 洗濯物は、できるだけまとめて洗う。洗剤は正しく計量して使う。

● 洗車は、水路や川のそばでしない。水や洗剤を使いすぎない。

# 水環境 ③

## やまぐちの豊かな水環境

三方を海に開かれ、美しい自然に恵まれた山口県には、豊かな水環境があります。

### 名水百選

環境省では、昭和60年に全国の古くから親しまれている名水・湧水100箇所を選定し、名水百選としました。山口県内からは、3箇所が選定されました。



#### ●寂地川 (岩国市)

錦川の支流宇佐川の最上流部で国定公園内に位置し、地元住民の飲料水源となっているほか、ワサビ栽培などに利用されています。



#### ●桜井戸 (岩国市)

古くから名水として知られ、お茶会用の水のほか灌漑用水としても利用されています。井戸は文化遺産として2度改修されています。



#### ●別府弁天池湧水 (秋芳町)

カルスト地域に見られる湧水池。1日5万5千トンの湧水があり、農業、養鱒、簡易水道水源などに利用されています。

### 快水浴場百選

環境省では、「美しい」「清らか」「安らげる」「優しい」「豊か」という新たな評価軸に基づき、全国100箇所の水浴場を「快水浴場百選」としました。山口県内からは、5箇所が選定されました。



#### ●片添ヶ浜海水浴場 (周防大島町)

美しい水辺 ★★★★★ 優しい水辺 ★★★★★  
清らかな水辺 ★★★★★ 豊かな水辺 ★  
安らげる水辺 ★★★★★



#### ●室積海水浴場 (光市)

美しい水辺 ★★★★★ 優しい水辺 ★★★★★  
清らかな水辺 ★★★★★ 豊かな水辺 ★  
安らげる水辺 ★★★★★



#### ●虹ヶ浜海水浴場 (光市)

美しい水辺 ★★★★★ 優しい水辺 ★★★★★  
清らかな水辺 ★★★★★ 豊かな水辺 ★  
安らげる水辺 ★★★★★



#### ●土井ヶ浜海水浴場 (下関市)

美しい水辺 ★★★★★ 優しい水辺 ★★★★★  
清らかな水辺 ★★★★★ 豊かな水辺 ★  
安らげる水辺 ★★★★★



#### ●菊ヶ浜海水浴場 (萩市)

美しい水辺 ★★★★★ 優しい水辺 ★★★★★  
清らかな水辺 ★★★★★ 豊かな水辺 ★★★★★  
安らげる水辺 ★★★★★

※星印の数は、以下の5つの評価軸ごとの評価 (1~5つ、5つ星が最高) を表しています。

- [1] 美しい水辺 (水質、自然景観)
- [2] 清らかな水辺 (環境への配慮・取り組み)
- [3] 安らげる水辺 (安全性)
- [4] 優しい水辺 (利便性)
- [5] 豊かな水辺 (水と人との関わり)

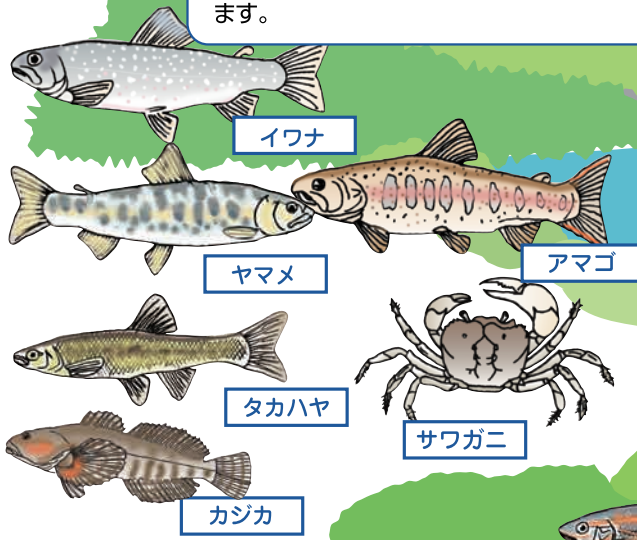
# 水環境 ④

## 川の水棲生物と生態系

川は大きく分けて、「上流」「中流」「下流」に分類できます。  
それぞれの場所によって、地形、勾配、流れの早さ、川床の石の形態などが異なり、そこに棲む生きものたちも異なります。

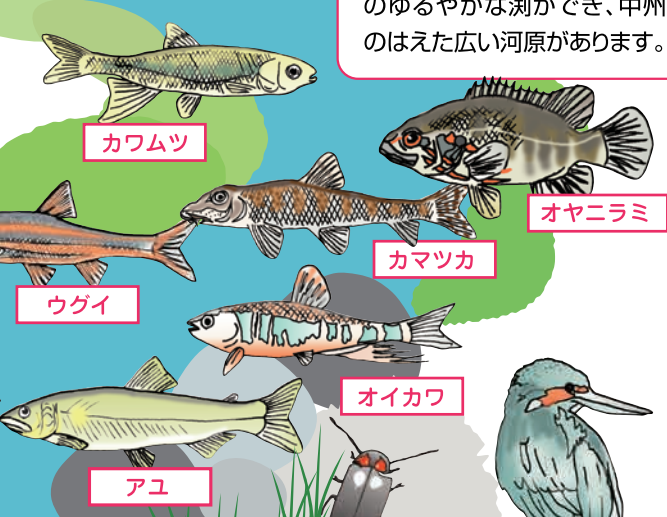
### 上流域

(川の様子)  
川幅は狭く勾配が急で、河原はほとんどなく、川床にはゴツゴツした大きな石があります。  
深いV字型の谷になっていて、谷間をぬうように小さな滝になったり、よどんだりしながら流れます。



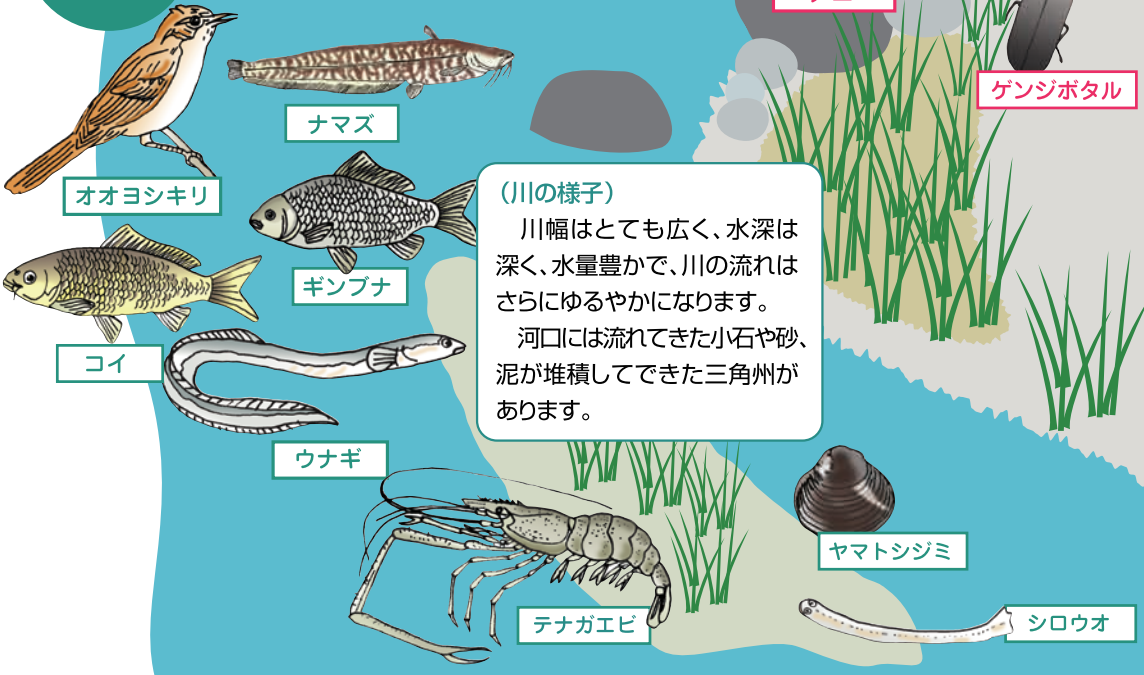
### 中流域

(川の様子)  
川幅が広くなり、上流より傾斜がゆるやかで、川床には角がとれた丸い石ころや砂が多くなります。  
水は蛇行しながらゆっくりと流れ、浅くて流れの速い瀬と深くて流れのゆるやかな淵がで、中州や草のはえた広い河原があります。



### 下流域

(川の様子)  
川幅はとても広く、水深は深く、水量豊かで、川の流れはさらにゆるやかになります。  
河口には流れてきた小石や砂、泥が堆積してできた三角州があります。



# 水環境 5

## やまぐちの豊かな流域づくり

### 策定の趣旨

山口県では、上流域の森林から下流域の干潟や海に至るまでの流域全体を捉えて、その流域の住民、事業者、行政関係機関等が協働・連携しながら、地域の実情に応じた特色のある流域づくりを進めるため、平成15年3月に「やまぐちの豊かな流域づくり構想」を策定しました。

### モデル構想の策定

豊かな流域づくりを推進するために、まず中国山地を水源とし山口湾に至る二級河川・榎野川流域をモデルに構想を策定し、県内の他流域にもこの構想を反映することとしています。

### 基本理念

もり・かわ・うみを育むふるさとの流域づくり

#### ●上流域：

主に森林からなる地域  
榎野川流域の主たるかん養域

#### ●中流域：

主に農地、市街地、住宅地など  
からなり、人口及び産業の集積  
が大きい地域  
榎野川流域の水利用の中心域



流域に関わる全ての主体が協働・連携して、森・川・海を育み、また森・川・海に育まれながら、「ふるさとの川でつながる循環共生型社会」を目指しています。

#### ●下流域：

海との関わりが強い河口部  
周辺域(干潟等を含む)  
榎野川流域では農業的利用  
が主たる地域

### ■ 榎野川モデル フレーム

#### 流域づくりの視点

地域づくり

くらしづくり

産業づくり

人づくり

#### 豊かな流域づくりの基本方針

人と水、  
豊かなつながりを後世に…

- 清流(水質)を保全すること
- 流域内の生物のつながりを取り戻すこと
- 流域全体の水循環を健全にすること
- 人と川の間わりをつくり、大切にすること
- 水を育む森・農地を守り、地域産業を活性化すること
- 流域連携のしくみをつくること

- 源流の森づくり(保全・利活用)
- 自然豊かな川づくり



- 山口湾の干潟・藻場の再生
- 地域の人に愛され親しまれる川づくり

- 農林産物の地産・地消の促進
- 魅力ある観光地づくりの推進



- 環境学習・環境教育の推進
- 地域通貨の導入・流通